令和５年度　桜木　地区集会 自由テーマ

自由テーマ

１ 桜木地区内の市道未整備路線の早期事業着手と完工について

２ 地区要望の単価アップと通学路安全対策の特別枠の設定について

３ 特殊詐欺防止対策の強化について

テーマ選定理由

１ 桜木地区内道路整備の最大課題であること。

２ 地区の課題解決は年間３件の地区要望に依るところが大きいが、課題が山積する中、諸物高騰により、１件あたりの処理費用は実質目減りしているのが現状である。このため１件あたりの事業費目安単価の引上げと、通学路安全対策については、地区要望３件の枠内では十分拾い上げることが困難であるため、課題解決処理に要する予算の別枠確保をお願いしたい。

３ 掛川市内においても被害（R4=6件 626万円 R5=6件 870万円）が出ており、今後住民の高齢化や一人暮らし高齢者の増加が予測される中、これ以上の被害をださない対策が必要である。

具体的な提案等

１-①市道桜木南横断線の整備について

本路線線の整備については、昨年10/11に市長宛要望書を提出し、本年1/31付けで、事業化未定区間(250m)については、県との協議・調整等を行い、令和８年度の事業着手に向けて準備を進めると回答があったが、その後の事業進捗状況を伺う。

１-② 市道桜木中央線の整備について

本路線線の整備については、上記市道桜木南横断線とともに昨年要望した案件であるが、回答としては未整備区間沿線地権者の合意が確約されれば、事業区間の延伸を検討するとの事であった。この路線については桜木地区のみならず、本郷方面からの車両も多く、桜木地区としては最も早期に整備を希望する路線である。市が早期に地権者説明会を行うなど実現に向け、具体的な第一歩を踏み出していただきたい。

１-③ 市道桜木中横断線の整備について

本路線線の整備については、家代（宇洞）地内で工事が長期間中断している。一方、細谷地内（トンネルから西側）においては徐々に工事が進んでいる。本路線も桜木地区としては重要な路線であり、工事の全体スケジュールを示していただきたい。

２ 地区要望の単価アップと通学路安全対策の特別枠の設定について

① 現状１件当たり30万円までの事業費処理目安単価を50万円まで拡大する。

② 教育委員会で、次年度の通学路関係対策の予算を取りまとめ、予算確保する。

３ 特殊詐欺防止対策の強化について

① 被害に遭わないための具体的な注意事項を記載した、啓発リーフレットやステッカー等を作成し、全戸配布を行う。

② NTTナンバーディスプレイは、現在契約者が70歳以上かまたは70歳以上の同居人がいる世帯は無償なのだが、高齢者年齢である65歳まで引き下げられる様、市で助成するかNTTへの働きかけを行う。